



令和7年6月4日

午後1時30分

企画展「<sup>オー</sup>こけし店主<sup>ワイ</sup>Y氏の愛した昭和のこけしコレクション」  
を開催します

かつてJR一ノ関駅前で営まれていた<sup>オー</sup>こけし店。その店主が心を寄せ、子息が収集した「伝統こけし」約400点を初公開します。

- 1 期間 6月21日(土)から8月17日(日)  
午前9時～午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)  
※ 企画展初日の6月21日(土)は入館無料です
- 2 場所 一関市博物館 企画展示室(厳美町字沖野々215番地1 0191-29-3180)
- 3 関連行事

(1) 講演と対談「楽しみのこけし」

日時：6月22日(日)午後1時30分～3時

講師：青野由美子氏(カメイ美術館学芸員)

定員：50人(要申し込み)

参加料：無料

(2) 館長講座「旅人のみた<sup>いちのせき</sup>一関・<sup>やまのめ</sup>山目ー他者の観察眼ー」

日時：7月20日(日)午後1時30分～3時

講師：菊池勇夫(当館館長)

定員：50人(要申し込み)

参加料：無料

(3) 博物館でアートを楽しむ 「こけし絵」をかいてみよう

日時：8月2日(土) 午前の部 午前9時～正午 午後の部 午後1時～4時

講師：いわい美術振興協会会員、当館学芸員

定員：各回15人(小学4年生以上・要申し込み)

参加料：100円

## (4) 展示解説会

日時：7月6日（日）、8月3日（日）いずれも午後1時30分～2時10分

解説：当館学芸員

参加料：無料

## 4 その他

一般来館者の鑑賞を妨げないようにするため、取材は「講演と対談」または「展示解説会」に合わせるか、開館前または閉館後にしてください。開館時間中の取材を希望の場合は、展示室における担当者の解説を控える場合があります。

詳しくは添付のチラシを参照してください。

## 問い合わせ先

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字沖野々215-1

一関市博物館 副館長 大衡

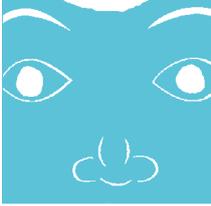
電話：(0191)29 - 3180 FAX：(0191)33 - 4006

メールアドレス：hakubutsukan@city.ichinoseki.iwate.jp

# 〇

# こけし店主

# Y氏の愛した



企画展



# 昭和のこけしコレクション



かつてJR一ノ関駅前で営まれていた〇こけし店。その店主が心を寄せ、  
子息が収集した「伝統こけし」。約400点を初公開します。



2025年 6月21日 土 ~ 8月17日 日

【休館日】毎週月曜日（但し7月21日、8月11日は開館）、7月22日、8月12日

【入館無料日】企画展の初日 6月21日



## 一関市博物館

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字沖野々215-1 TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006  
<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>





宮本永吉作

企画展

# Oこけし店主 Y氏の愛した 昭和のこけしコレクション

かつて、JR一関駅前にあった「尾張屋こけし店」。こけしを主体に、民芸品や土産物などを販売していました。店主は明治生まれの横地省三氏。こけしへの思い入れはひとしおで、造詣も深く、その世界で名が知られていました。

省三氏の子息、横地儀房氏は多数のこけしを収集しました。昭和の東北地方で作られた「伝統こけし」がほとんどを占め、約400点ものコレクションは、令和6年に一関市へ寄贈されました。

古くから東北地方で作られてきたこけしは、われわれにとって親しみ深い存在です。「こけしブーム」も手伝って、全国に大勢のファンがいます。

一関市では昭和36年から49年まで、毎年「東北地方こけしコンクール」を開催していました。広く関心を集め、大いににぎわいました。

土産物であり、今では美術的価値の高い工芸品として、また、地域の歴史や文化、産業や観光の振興に関わる品としての側面も有し、往時は子どもの玩具であった「こけし」。このたびの企画展では、横地儀房氏寄贈のこけし全点を初公開し、古くから人々の心を捉えてきたこけしの魅力に改めて触れていただく機会といたします。

明治時代に現在の一関市で生まれた宮本永吉（明治13年～昭和26年）が作ったこけしです。赤一色で描かれた胴の模様は、楓の葉とも菊の花とも言われ、熊手のようだと言われています。

永吉の父 惣七もこけし工人で、父子のこけしは「中尊寺こけし」として平泉の中尊寺門前で売られたとされます。

永吉は弟子を取らず後を継ぐ人がいなかったために、それを惜んだ尾張屋こけし店の横地省三が、宮城県鳴子の工人 秋山忠市（大正2年～昭和59年）にすすめて、宮本永吉型のこけしが作られました。このたびの企画展では、忠市による永吉型こけしも展示します。



(参考) 一関で開催された「東北地方こけしコンクール」記録映像(個人蔵)より  
第8回(昭和43年/会場・相川屋デパート)  
第9回(昭和44年/会場・福原デパート)

入館料 ※ ( ) 内は団体 (20名以上) 割引料金	
一般	300円 (240円)
高校生・大学生	200円 (160円)
中学生以下	無 料

次の方々の入館料は免除といたします。

- ①障がい者・介護者の方(障がい者手帳などを提示願います。)
- ②65歳以上の一関市民の方(年齢・住所が証明できるものを提示願います。)

## 一関市博物館

〒021-0101 岩手県一関市巖美町字沖野々215-1  
TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006  
https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

入館無料日 企画展の初日 6月21日(土)

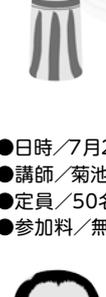
休館日 毎週月曜日(但し7月21日(月)、8月11日(月)は開館)、  
7月22日(火)、8月12日(火)



### 講演と対談「楽しみのこけし」

- 日時/6月22日④ 13:30～15:00
- 講師/カメイ美術館 学芸員 青野由美子氏
- 定員/50名 ●申込方法/電話
- 参加料/無料

江戸時代に東北で誕生したと伝えられている伝統こけしは、熱狂的なコレクターに支えられて今日までつくられてきました。「伝統こけし」のあれこれについて、全国でも数少ないこけし担当の学芸員である青野さんにお話しいただきます。



### 館長講座「旅人のみた一関・山目 -他者の観察眼-」

- 日時/7月20日④ 13:30～15:00
- 講師/菊池勇夫(当館館長)
- 定員/50名 ●申込方法/電話
- 参加料/無料

毎年人気の館長講座。今年度の2回目は、江戸時代に当地方を訪れた旅人たちの日記や紀行から、彼らが「どこに泊まり」「何を見たのか」を紹介。旅をしたのは農民、商人、知識人、幕府の役人など。様々な身分や階層の人たちの観察眼を探ります。



### 博物館で「こけし絵」をかいてみよう

- 講師/いわい美術振興協会会員、当館学芸員
- 日時/8月2日④  
午前の部 9:00～12:00  
午後の部 13:00～16:00
- 定員/各回15人(小学4年生以上)
- 申込方法/電話 ●参加料/100円

こけしのお顔や胴の模様を、「こけし絵」として平面にかいてみましょう。こけしをじっくりと見て、かいてみることで、こけしを大好きになるかもしれません。一関市を中心に活動する、いわい美術振興協会会員の皆さんを講師に迎えます。

### 展示解説会

- 日時/7月6日④ 13:30～14:10  
8月3日④ 13:30～14:10
- 申込/不要
- 参加料/無料(入館料は必要)

担当学芸員と一緒に、こけしを鑑賞して楽しみましょう。「伝統こけし」こけしの系統」といった言葉を耳にしたことのないような、「こけし初心者」の皆さんの参加をお待ちしています。

